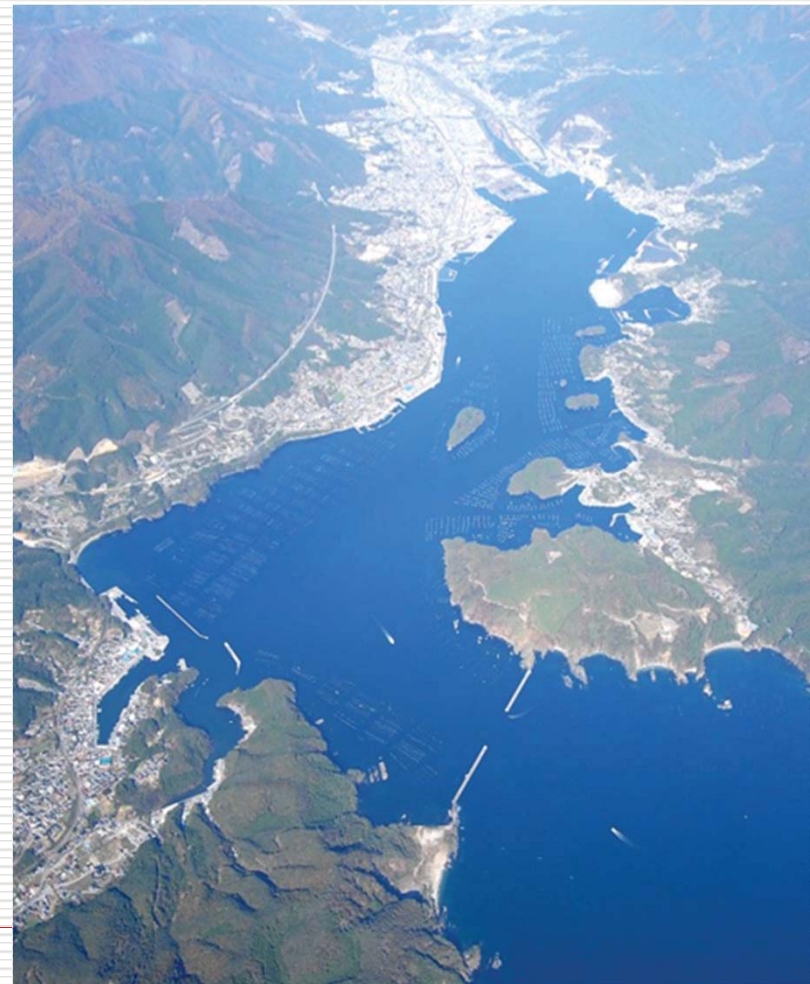


国土強靱化日米ワークショップ

東日本大震災と直後の対応

平成26年7月7日
大船渡市長 戸田公明

大船渡市 位置



大船渡市 概要

- ・岩手県沿岸南部の温暖地域
- ・人口3.9万人・面積323Km²
- ・大船渡湾は天然良港
- ・世界三大漁場を目前にした水産業が盛ん
- ・国際コンテナと客船が寄港



大船渡市

海の幸が沢山 (サンマ、ワカメ、牡蠣、ウニ、鮑、ホタテ、鮭、鰹、鯖・・・)



3.11その時 発生状況

14：46 地震発生（三陸沖、マグニチュード9.0）

14：49 大津波警報発表

14：54 津波第1波観測 0.2m（気象庁3月11日発表）



観測最大波

15：15 3.3M 気象庁3月11日発表

15：18 8.0M 気象庁3月23日発表

不明 11.8M 気象庁4月5日現地調査

3. 11 その時

津波 大船渡湾内に押し寄せ



3.11その時

市の対応 緊急組織立ち上げ

□災害対策本部と地区本部の設置

◎災害対策本部

地震発生と同時に市役所に設置

14：49 避難指示を発令

◎地区本部

同日中に市内沿岸7地区に設置

➡ 本部の廃止：8.31 17：15



3.11その時

市の対応 派遣依頼

□陸上自衛隊（～7.20活動終了）

人員：723人 車両177台

□緊急消防援助隊（3.12～3.30）

人員：641人

□県内広域応援（奥州金ヶ崎消防本部）

□消防団（住田町消防団）

□警察広域緊急援助隊等（3.12～2.10）

広域緊急援助隊、警備部隊、交通部隊
などとして、全国から派遣



3.11その時

市の対応 国際救助隊の受け入れ

□アメリカ（3.14～3.16）

148人（2隊） 救助犬14匹

□イギリス（3.14～3.16）

62人

□中国（3.13～3.20）

15人

大船渡町北側で捜索活動を展開



3.11その時

人的・住戸被害

□人的被害

死亡者：340人

行方不明者：79人

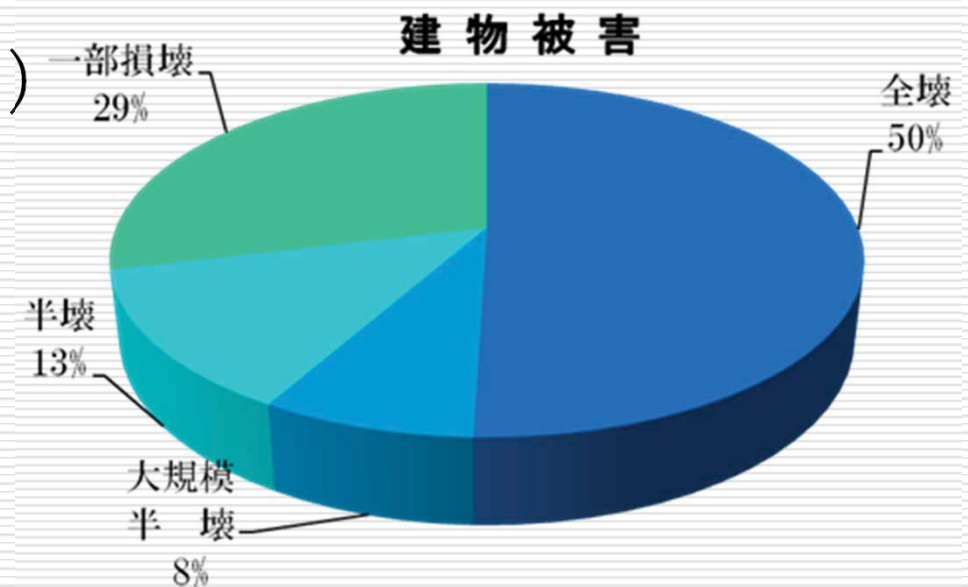
□住戸被害（5,563世帯）

全壊 2,789

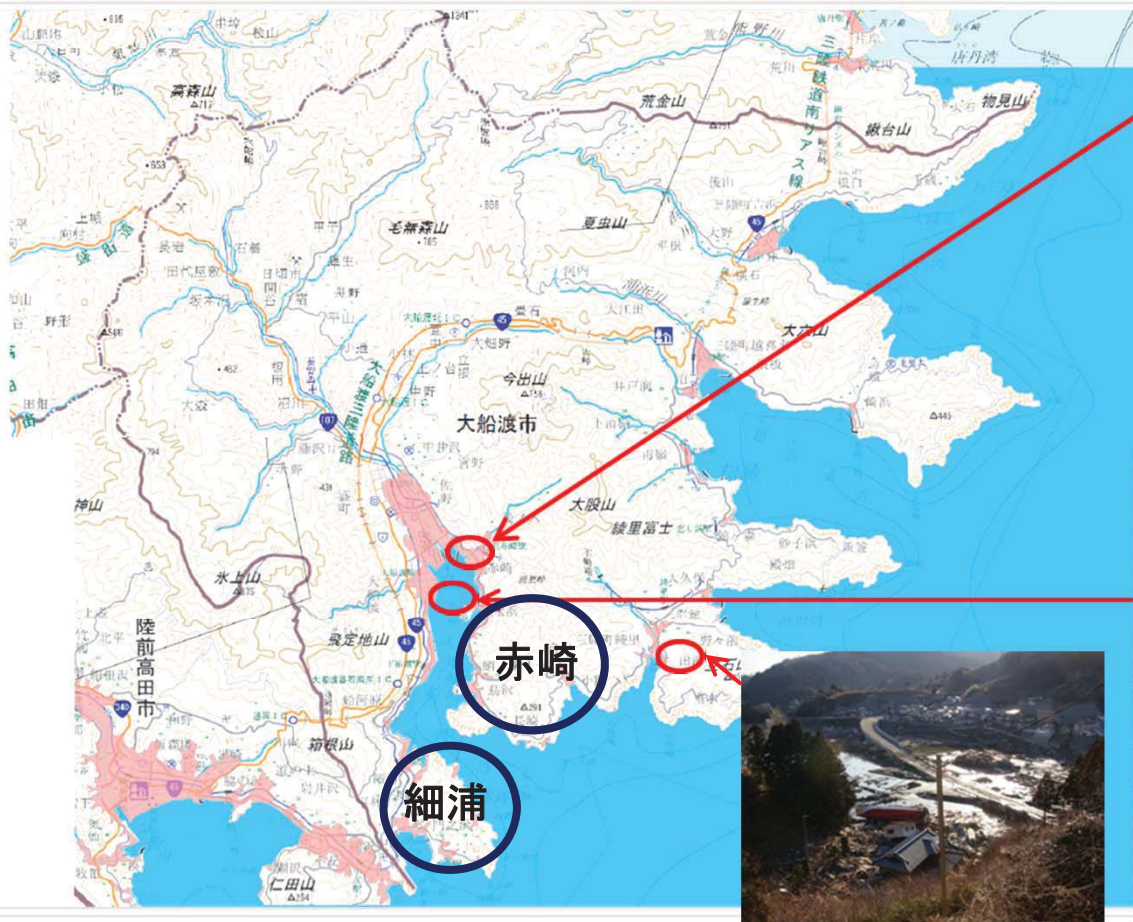
大規模半壊 431

半壊 717

一部損壊 1,626



大船渡市におけるトモダチ作戦 道路遮断による支援物資運搬の途絶



大船渡市におけるトモダチ作戦

迅速な物資支援の空輸1（末崎地区）

- 三陸沖の空母「ロナルド・レーガン」からヘリコプターによる迅速な物資支援がなされた。



大船渡市におけるトモダチ作戦

迅速な物資支援の空輸2(赤崎地区)



大船渡市におけるトモダチ作戦

迅速な物資支援の空輸3(赤崎地区)

□ 避難住民から
必要品を聴取
するパイロット



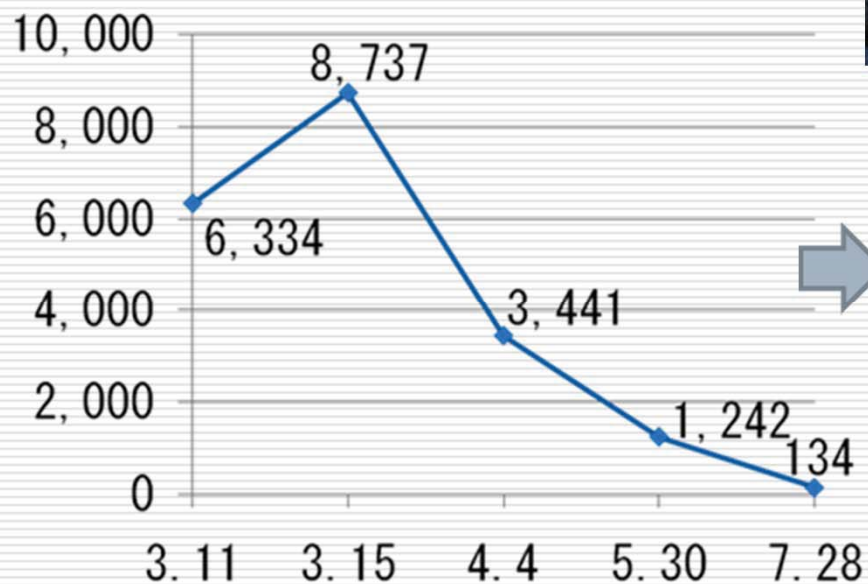
大船渡市におけるトモダチ作戦 ヘリコプターパイロットのメッセージ

- ・今後も必要であれば物資を届ける。
- ・この地区の被災者数と必要な物資を教えてください。
- ・一生懸命支援する、あきらめず頑張ってください。

3月14日から1週間ほどで延べ20機が飛来し、大量の救援物資の提供を受けた。

救急・応急対応 避難所開設

- 避難所と避難者数
最も多いときには
60カ所に8,700人超が避難



応急仮設住宅などへの入居に伴い、
8月28日に全避難所を閉鎖

救急・応急対応

避難所への支援

- 食料、生活物資、情報などの提供
- 健康管理
こころのケア・保健チームなどの巡回
- 入浴支援（3.18～8.31）
市内の施設や自衛隊の仮設入浴施設
利用者 累計75,641人
- 内陸部への一時移動（～8.10 利用者：170人）
- 客船「ふじ丸」によるサービス提供
（4.11 利用者：892人 4.15 利用者：821人）



救急・応急対応

他自治体などからの支援

□岩手県

□銀河連邦

神奈川県相模原市、長野県佐久市、
鹿児島県肝付町、秋田県能代市、
北海道大樹町

□医療・保健・福祉の支援

多くの自治体や団体による、
医療・こころのケア・保健・
サロン・リハビリテーション支援等

□事務職員の派遣支援

□日本水道協会



救急・応急対応 住宅の確保

□応急仮設住宅

市内37カ所に1,801戸を整備

3月25日から順次着工

7月28日までにすべて完成

□民間賃貸住宅（みなし仮設住宅）

2年間の家賃などを県が負担

およそ642戸

□住宅応急修理

修理により、自宅での生活が可能
となる世帯を支援

《応急仮設住宅の整備状況》

地 区	戸 数	箇所数
盛	91	5
大船渡	357	6
末 崎	313	5
赤 崎	240	7
猪 川	439	8
立 根	120	1
綾 里	90	1
越喜来	146	3
吉 浜	5	1
計	1,801	37



救急・応急対応 がれき・障害車両

□がれきの撤去

発生量＝85万3,110トン

4月11日 市内8地区で撤去を開始

6月22日 セメント工場で、がれきの焼却処理を開始

➡ 平成25年度末撤去完了

□障害車両の撤去・移動

発生量＝約5,000台

3月20日から撤去・移動開始

➡ 平成24年度末撤去完了



救急・応急対応 ボランティア

□民間ボランティア組織

- ・オランダ民間ボランティア
人員：4人 救助犬：4匹
- ・オール・ハンズ・ボランティアズ
人員：延べ1,129人
- ・絆・ベルリン
人員：30人 など

□災害ボランティア

3月12日から受け入れ開始
受入状況：累計33,554人



ありがとうございました
今後とも皆で力を合わせ
頑張って参ります
